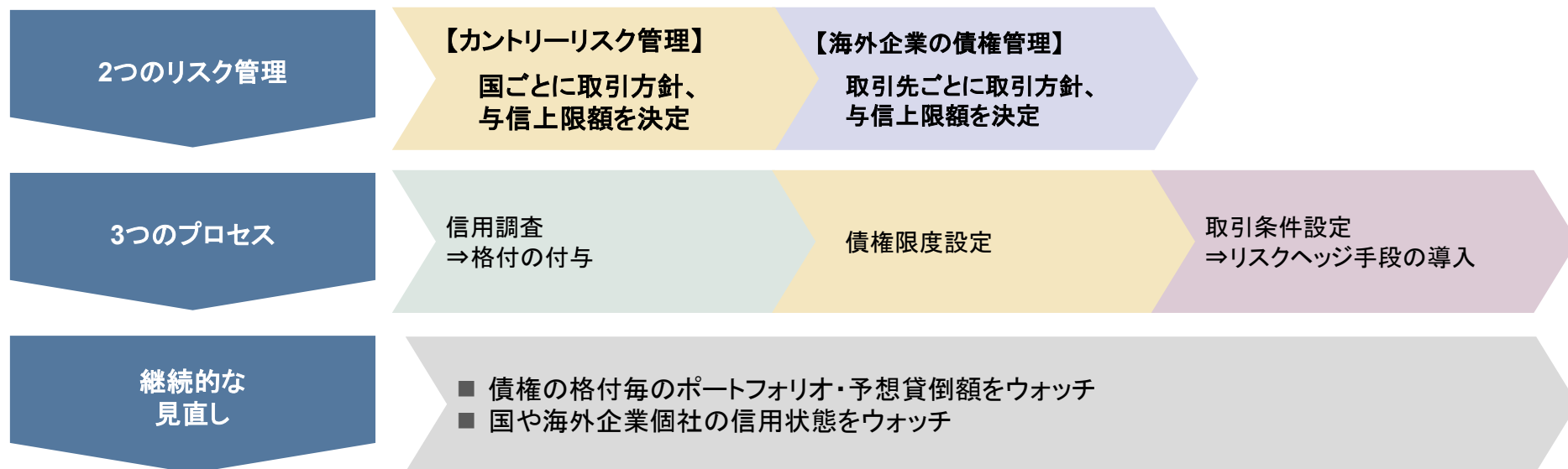


海外売掛債権管理アドバイザー のご案内

海外債権管理の流れ

- 海外債権管理は国と企業の2つのリスク管理が必要です。たとえば企業が優良でも国自体が支払停止をすれば代金回収はできません
- まず、カントリーリスク管理・ヘッジ手法を策定。次に海外企業の債権リスク管理を行ないます
- カントリーリスク管理・海外企業の債権管理はそれぞれ3つのプロセスにて実施します
 - ① 格付の付与
 - ② 債権限度設定
 - ③ 取引条件設定
～リスクヘッジ手段の導入
- 更にそれを1年に1回以上、継続的に見直し、格付毎の債権分布と予想貸倒額をウォッチしていくことが重要です。

海外債権管理の流れ



サービスの特徴

- 海外企業の債権管理&カントリーリスク管理双方について、サービス終了後に貴社が自社で管理できる態勢になることを目指します
- 格付モデルのご提供、財務データにあらわれない倒産の兆候、カントリーリスクの考え方、限度設定や取引条件の設定方法、リスクヘッジ手段等、MUFGのノウハウと他社事例を反映したコンサルティングを実施します

1. 格付モデルのご提供とロジック説明

- 格付モデルを構築するためには、一定のデフォルト事例を経験する必要があり、一般的に事業会社では情報の蓄積が困難です
- 弊社モデルにはMUFGの海外企業宛与信経験、提携データベースを利用した近年の倒産企業の決算書からの分析内容が反映されています

2. 社内研修

- MUFGのノウハウや他社事例を反映した各種帳票をご提供、併せて一連の管理手法についての社内研修を実施します
 - (財務分析では捉えきれない)定性的な企業のリスク分析
 - (日本企業とは異なる)海外企業のグループ会社支援動向やカントリーリスクの考え方
 - 各国決済事情等を反映した取引条件やリスクヘッジ手段の検討 等

3. 貴社用規程作成

- 貴社の社内規定や今後の取引方針等を踏まえて、貴社用の海外売掛債権管理規程や各種帳票をご提供します。規程や帳票の中国語、英語化対応も可能です。

サービス終了後は貴社が自前で管理できる態勢を目指します

海外売掛債権管理の仕組み作り導入のメリット

- 海外企業向けの売掛債権が焦げ付き、輸出債権や現地法人の売掛債権が不良化する事例が増加しています。海外売掛債権回収の成否は本社単体や連結決算の損益やキャッシュフローに大きな影響をもたらしています。
 - 海外売掛債権について管理体制を構築し、営業担当者をはじめとする社員に教育・徹底することで、損失額を限定的なものにすることが可能です。
 - 三菱UFJフィナンシャル・グループには、与信管理のプロとしてのノウハウの蓄積があり、数多くの売掛債権リスクヘッジのソリューションの提供が可能です。
- また、管理体制やリスクヘッジ手法が確立できれば、以下の効果が見込めます。

優良先

- 踏み込んだ取引条件の設定で営業を積極化。
 - キャッシュフロー拡大のために売掛債権流動化

リスク有先

- リスクヘッジ策を講じたうえで、販路拡大。
 - リスクが判別できない状況での売掛債権積上げによる貸倒損失
逆にリスクヘッジ策を講じることなく取引断念といった機会利益損失を回避

- 海外売上拡大
- 海外売掛債権貸倒れの限定化→資金創出

お問い合わせ

- コンサルティングのご依頼、ご相談の際は、以下のボタンをクリックください
- お問い合わせページに移動しますので、必要事項を記入ください

お問い合わせ

QRコードはこちら ▶



URLはこちら ▶ <https://reg18.smp.ne.jp/regist/is?SMPFORM=nekf-ldkgpe-1648b29f41f462760deaae4cdc248144>

ご利用に際して

- 本資料は、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません
- また、本資料は、作成者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一的な見解を示すものではありません
- 本資料に基づくお客様の決定、行為、及びその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます
- 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず、出所:三菱UFJリサーチ&コンサルティングと明記してください
- 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要ですので、当社までご連絡下さい

本資料に関する問い合わせ先:

三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社

コンサルティング事業本部 コンサルティング業務企画部 下記HPよりお問い合わせください

<https://www.murc.jp/inquiry/>

Appendix I. 当社概要

会社紹介

- 三菱UFJリサーチ&コンサルティングは、三菱UFJフィナンシャル・グループ(MUFG)のシンクタンク・コンサルティングファームです。
- 東京・名古屋・大阪を拠点に、国や地方自治体の政策に関する調査研究・提言、民間企業向けの各種コンサルティング、経営情報サービスの提供、企業人材の育成支援、マクロ経済に関する調査研究・提言など、幅広い事業を展開しています。

会社概要

会社名	三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社 Mitsubishi UFJ Research and Consulting Co., Ltd.
本社所在地	〒105-8501 東京都港区虎ノ門五丁目11番2号 オランダヒルズ森タワー TEL:03-6733-1000(代表)  https://www.murc.jp
資本金	20億6千万円
従業員数	約1,010名(2021年6月現在)
代表取締役社長	池田 雅一
理事長	竹森 俊平
主要株主	三菱UFJ銀行、三菱UFJキャピタル、三菱UFJファクター
子会社	PT. MU Research and Consulting Indonesia MU Research and Consulting (Thailand) Co., Ltd. Digital Governance Academy Asia-Pacific株式会社
駐在員事務所	ホーチミン駐在員事務所 The Representative Office of Mitsubishi UFJ Research and Consulting Co., Ltd. in Ho Chi Minh City

三菱UFJリサーチ&コンサルティング

コンサルティング事業本部

戦略コンサルティングビジネスユニット

経営コンサルティングビジネスユニット

組織人事ビジネスユニット

サステナビリティビジネスユニット

デジタルイノベーションビジネスユニット

国際業務推進本部

ココロミルラボ

営業本部

ホーチミン駐在員事務所

政策研究事業本部

東京本部

名古屋本部

大阪本部

会員・人材開発事業本部

ソーシャルインパクト・パートナーシップ事業部

調査本部

企画管理部門

総合リスク管理部

プロジェクト品質管理部

内部監査部

シンクタンク・コンサルティングファームとしての知見発信

当社所属のコンサルタントによる最近の出版物(抜粋)



当社コンサルタントが出演したテレビ番組(2020年冬)

BSテレビ東京 特別番組
「日本はこうなる!?～2021年を生き抜くビジネス戦略～」



出所及び動画URL: <https://www.bs-tvtokyo.co.jp/nihonkounaru/>

さまざまな業種・業態の企業のお客様のために、
経営課題の解決や経営戦略の立案に
役立つレポートを掲載しています

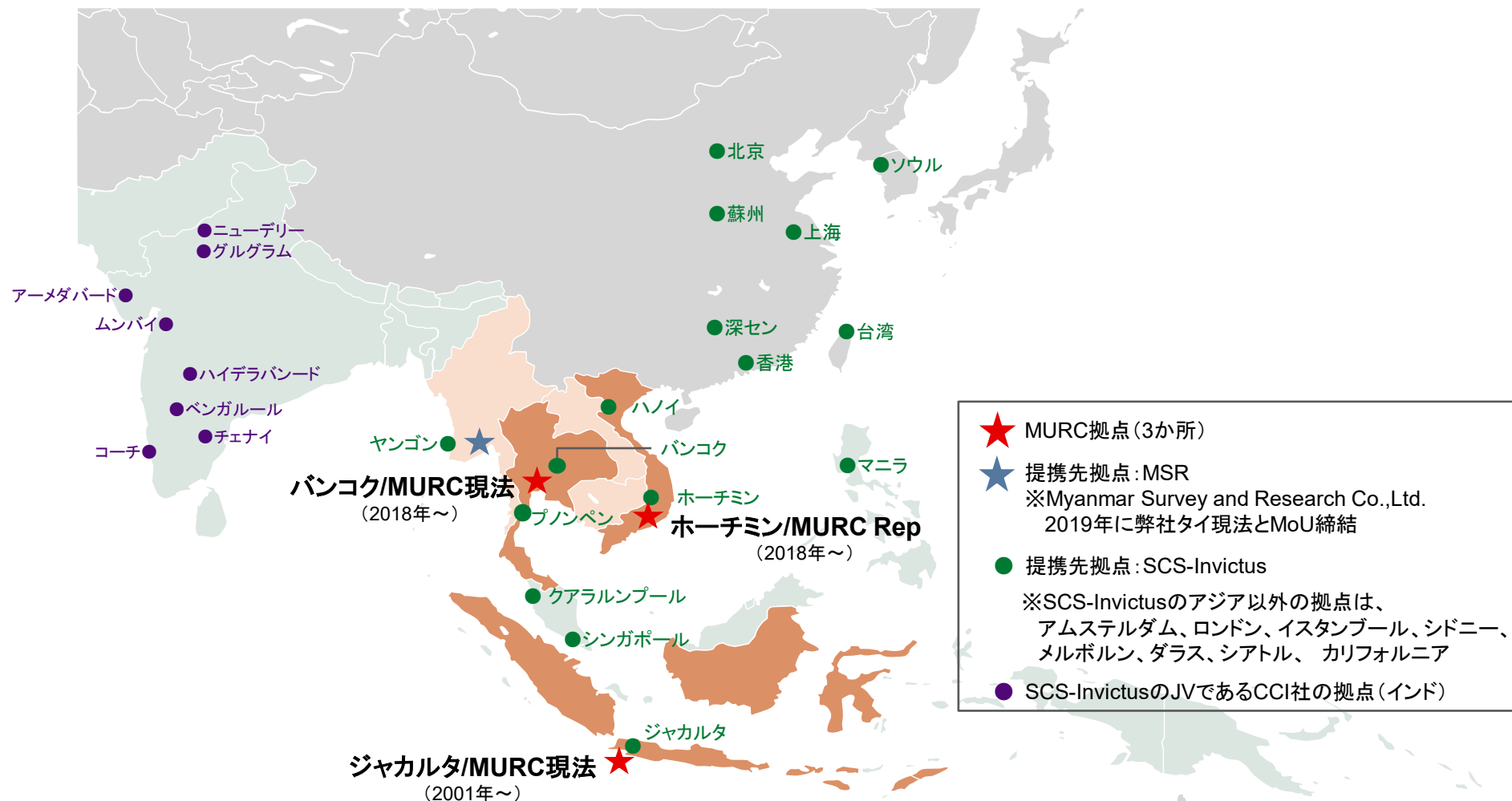
**コンサルティング・
レポートはこちら**

URL https://www.murc.jp/report/rc/report/consulting_report/



海外のコンサルティングサービスネットワーク

- 当社はかねてよりアジアを重点市場としてとらえ、ASEANの3か所に拠点をもって、コンサルティングサービスを提供しています。
- 2020年に国際会計事務所グループであるSCS-Invictus Holdings Pte. Ltd.とアライアンスを締結し、幅広い領域で、お客様のニーズに対して現地でのサポートにも対応できるような体制を用意しています。



三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社

www.murc.jp/